平成 24 年 2 月 28 日

各　　位

会 社 名　ＴＬホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役社長　佐藤　浩二
（ＪＡＳＤＡＱ・コード 3777）
問合せ先　取締役経営企画管理本部長
中澤　秀俊
電話　　03－5809－1850

中古パソコン事業の展開方法の変更、並びに、第三者割当増資による調達資金の資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、平成23年11月24日付で「中古パソコン事業の開始に関するお知らせ」を開示しましたが、当該事業の展開方法について変更になりました。また、中古パソコン事業の展開方法の変更により、平成23年11月24日付で「第三者割当により発行される新株式（金銭出資及び現物出資（デット・エクイティ・スワップ））の募集に関するお知らせ」にて開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」に関し、下記のとおり変更することにいたしましたので、お知らせいたします。

記

１．中古パソコン事業の展開方法の変更及びその背景

当社は、中古パソコンの流通においては、仕入能力が競争力の源泉であるため、当該仕入業務及び中古パソコン市場に精通した人員（1名）を採用することで、リース会社からリースアップ品を仕入れる能力を得ることを計画しておりましたが、事業展開のスピードアップ等を勘案して、当該人員は採用せず、当該人員等を要する同業他社と協業することにいたしました。

この目的は2点あり、1点目は中古パソコンのビジネスにおいて当社の強みであるOSの同梱出荷にできるだけ注力し、物流や倉庫管理、データ消去、出荷準備といった人手と場所を要する作業に関して同業他社のインフラを利用することにより、出荷量に関係なく発生する支出をできるだけ抑えるとともに準備に要する時間の節約により事業展開を早めるためです。2点目は、同業他社との協業により、販売先の要求にこたえる品揃えや仕入れ量の確保が容易になり、取引量の拡大が図れるようになるためです。

同業他社からの仕入れる場合の仕入れ単価は上がりますが、倉庫資金、人件費、家賃といったコストをカットすることができるとともに、同業他社への当社OS販売が可能となることから、売り上げ利益ともに当初計画との変更はありません。

２．調達資金の変更理由

上記の中古パソコン事業の展開方法の変更により、平成23年12月28日に新株式発行により調達した資金のうち、中古パソコン投資資金及び事業運転資金として総額77百万円の資金使途の内訳が倉庫敷金、人件費、家賃等から同業他社への支払手数料等に変更いたします。

３．調達資金の変更の内容

本第三者割当増資決議時に開示いたしました資金使途の変更は以下のとおり変更となります。なお、下線部分は変更箇所を示しております。

（変更前）

③中古パソコン投資資金（倉庫敷金１百万円、ウェブサイト制作資金5百万円）　約６百万円

④中古パソコン事業運転資金（3カ月分の仕入代金58百万円、人件費７百万円、家賃等の経費６百万円）
約71百万円

（変更後）
③中古パソコン投資資金（ウェブサイト制作資金5百万円）　約５百万円
④中古パソコン事業運転資金（3カ月分の仕入代金58百万円、支払手数料等の経費14百万円）
約72百万円

以　上